

令和6年度 第5回江南市上下水道事業経営審議会 議事要旨

会議名	令和6年度 第5回江南市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和7年2月13日(木) 午後2時から 午後3時15分まで
場所	江南市役所 3階 第3委員会室
委員	出席委員7名 横山 幸司 (学識経験者) 尾関 昭 (市議会議員) 須賀 博昭 (市議会議員) 市川 信行 (団体代表) 大曾根 数馬 (団体代表) 安藤 晴通 (公募市民) 大池 夏子 (公募市民)
事務局	8名 (水道部) 古田 (水道部 部長) (水道課) 尾関 (水道課 課長) 三輪 (水道課 経営・業務グループリーダー) 市川 (水道課 経営・業務グループ) (下水道課) 酒匂 (下水道課 課長) 今枝 (下水道課 主幹) 間宮 (下水道課 経営・業務グループリーダー) 平山 (下水道課 経営・業務グループ)
傍聴人数	0名
資料	・次第 ・資料1：令和7年度江南市水道事業会計当初予算(案)の概要 ・資料2：令和7年度江南市下水道事業会計当初予算(案)の概要 ・資料3：江南市水道事業経営戦略(中間見直し案) ・資料4：「江南市下水道事業経営戦略(改定案)」に関するパブリックコメントの結果について

1. 開会 水道部長あいさつ

2. 議題

(1) 令和7年度水道事業会計当初予算（案）の概要について

事務局 資料1「令和7年度江南市水道事業会計当初予算（案）の概要」を用いて説明した。

委員 主な事業について、基幹管路更新工事測量設計委託のメーター数が、令和8年度の4,260mに比べ令和9年度は2,430mと約半分であるにもかかわらず、令和8年度の事業費の5,351万5千円よりも、令和9年度の事業費のほうが5,795万9千円と高いのはなぜか。

事務局 令和9年度は、測量設計委託の対象となる管の口径が大きいことなどにより、事業費が高くなっている。

(2) 令和7年度下水道事業会計当初予算（案）の概要について

事務局 資料2「令和7年度江南市下水道事業会計当初予算（案）の概要」を用いて説明した。

委員 (2) 収益的収支の概要について、収益的収入のうち、その他の内容を教えてほしい。

事務局 消費税及び地方消費税還付金、国庫補助金などである。

委員 令和7年度の消費税及び地方消費税還付金として9,645万8千円を計上している。これは、主な事業についてのページに記載されている管きょ布設事業の、その他財源に充てているのか。

事務局 下水道事業において、課税収入額よりも課税支出額が多ければ、消費税申告時に還付となることで現金収入が発生する。課税支出の多くは建設改良費が占めているが、還付金は収益的収入として受け入れることとなるため、資本的支出である管きょ布設事業には充てることはできず、補てん財源を充てている。

(3) 江南市水道事業経営戦略（中間見直し案）について

事務局 資料3「江南市水道事業経営戦略（中間見直し案）」を用いて説明した。

会長 これまでの水道事業の歩みについて、コンパクトに上手くまとめられていると思う。

委員 令和7年4月に水道料金を改定することだが、その後、更に料金改定

が必要なのかといった内容が見えてこない。また、水道施設の耐震化の推進や安心な水の確保といったことにもあまり触れていないように感じるため、そういった内容を計画書に記載したほうがいいのではないかと。

事務局 5年毎に水道料金を見直しすることで、健全な経営が維持できる見通しとしている。掲載内容については、あくまで現行の経営戦略の中間見直しであるため大幅な変更はせず、水道料金の改定検討に伴い、変更となった投資・財政計画などを、置き換えたものである。令和8年度には、水道ビジョンと統合した新計画を策定する予定であり、その計画においては今後の耐震化や安心な水の確保についても記載することとなる。

(4) 江南市下水道事業経営戦略（改定案）に関するパブリックコメントの結果について
事務局 資料4「江南市下水道事業経営戦略（改定案）に関するパブリックコメントの結果について」を用いて説明した。

委員 回答の中に、下水道の供用開始によって土地の資産価値が向上するとの記載があるが、はっきりと言い切ってしまうといいのか。

事務局 下水道事業において、土地の資産価値が向上するというフレーズは割と一般的であり、問題ないと考えている。

委員 内容は間違っていないと思うが、あまり資産価値の向上を強調すると誤解を招く恐れがあるため、書き方は工夫したほうがいいのではないかと。また、受益者負担金に関する事業は、令和6年度のように赤字となることはあるが、事業単体の赤字黒字はそれほど重要ではないと思うため、そもそも経営戦略に対策を書くこと自体に違和感がある。

事務局 供用開始する区域によって、収入となる受益者負担金の額が毎年度異なるため、令和6年度のように事業費を下回る年度もあるが、委員が言われるように事業単体の収支はそれほど重要ではなく、下水道事業全体で収支バランスの対策を取っているため、受益者負担金に関する事業における収支バランスの解消対策は予定していないとの回答としている。

委員 収支バランスの解消対策は予定していないと書くと、何も対策していないと捉えられるため、それなら、下水道事業全体として収支バランスの対策を取っていることが分かる表現に変えられないか。

会長 委員から出た2つの意見について、回答を大きく変えるわけではないため、表現は少し修正したほうがいいのではないかと。

事務局 表現について、修正していきたい。

3. その他
事務局 今後の予定について
今後の審議会の日程について説明した。

4. 閉会